

## 平成26年度第2回食育推進委員会 議事録

日時：平成27年3月16日 午前9時30分から11時10分

場所：市役所本庁舎第1会議室

出席者：委員8名 関係課4名 事務局4名

〔委員〕安達内美子、岡村吏、徳川秀城、谷本歩、中野陽子、岩本直美  
〔関係課〕榊原裕美（児童課）、木村文香（健康課）、大滝陽子（学校教育課）、  
松田雅子（学校給食センター）  
〔事務局〕産業振興課長志水と典、課長補佐村瀬厚、係長浅井清、主査今井康太

事務局 本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。  
ただ今から、第2回日進市食育推進委員会を開催いたします。私産業振興課  
村瀬でございます。よろしくお願いいたします。  
はじめに、会議の定足数について報告いたします。委員8名中、6名ご出席  
されておりますので、本設置要綱第6条第2項の出席条件を満たしております  
ので、ここに第2回日進市食育推進委員会を開催いたします。  
最初に委員長よりご挨拶をお願いしたいと思いますので、安達委員長、よろ  
しくお願いいたします。

委員長 本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。前回は、食育  
概要版の作成などにご意見等いただき、ありがとうございました。おかげさま  
で、第2次計画概要版も完成し、昨年11月のエコフェスタで配布させていただ  
きました。また、本日の資料にもありますように、名古屋学芸大学の学生が作成  
した絵本の配布をした結果も後でご報告させていただこうと思っております。  
本日も様々な議題に対し、率直なご意見を賜りたいと思っておりますので、ご協力  
の程、よろしくお願いいたします。

事務局 議題に入ります前に、本委員会の議長は、設置要綱第6条により、委員長と定  
められておりますので、これより、議事進行を安達委員長にお願いいたします。

委員長 お手元でございます次第に沿って進めて参ります。  
2番の今年度食育推進計画の推進状況についてですが、各委員の最近の状況  
などについて、ご報告いただきたいと思っております。まずは、健康課木村さんいかが  
でしょうか。

健康課 健康課では、健やかにっしん日進宣言を掲げ、庁舎西側に懸垂幕を設置しま  
した。来年度以降、地域で強く推進していきたいと考えています。  
平成26年度は、市民まつりで食育に関して各団体の協力をいただき取組み  
を行いました。瀬戸保健所管内の栄養士会で豆つかみゲームによる箸使いの講  
習をしました。食生活改善推進委員さんにより野菜の花を見せて何かを当てる  
ゲーム、名古屋学芸大学の食育紙芝居、とにとクラブが腹囲メタボ、握力測定な

どを行いました。大腸がんのクイズラリーを行い、バランスの良い食事啓発を行いました。

また、にっしん体操大会で地域栄養教室を開き、野菜のレシピなどの紹介をし、野菜摂取不足に関してお知らせしました。中部保育園で野菜中心料理の保護者向けの健康教室、普段は健康相談や健康教室で食育の話をさせていただいています。また、今年度は食生活改善推進委員を18名養成し、講座の中で野菜摂取量愛知県ワースト1について情報提供し、野菜に対する取組みを進めることや、地産地消として、JAの協力をいただき、プチベールや白菜などで調理実習を行ったりし、各団体も含めて一丸となって取り組んでいきました。

**児童課** 児童課は、各園で食育を進めているところでありますが、給食カレンダーを毎月出しており、今年度は市制20周年記念として、10月3日にお祝い給食を行いました。JAの協力で新米と黒米を混ぜたご飯と市内産里芋の汁、おやつには記念タルトを出しました。できるだけ地元の食材を使い提供しています。他にも子供とおやつのクッキングや野菜の栽培などもやっております。食生活改善委員さんには2園を回っていただき、園児とおやつ作りと食に関する劇をやりました。また、名古屋学芸大学の方からは研究として骨密度と遺伝子の関係でアンケート調査をしました。近隣の栄養士会があり、災害時の食に関するリーフレットを作成しており、配る準備をしております。

**給食センター** 給食センターでは、和食に親しもうということの日進産の米を使用しました。今年は4/24から30は学校給食週間としており、地元のにんじんごはんや郷土料理を給食で紹介しました。今年は残念なことにプチベールが不作で使用できなかったのですが、なるべく地元の食材を使うよう献立を組みました。学期に1回、愛知を食べる学校給食の日を設けており、愛知や日進でとれた食材をその日には多く使用し、ポスターを作ったり、給食日よりで紹介しました。献立で愛知の食を知ろうシリーズで毎月食材を献立に入れて子供たちにもお知らせしました。栄養指導関係ですが、小学校3年生と5年生、中学校1年生は全校回りました。学年を決めて、朝ごはんを食べようということを伝えました。手ごたえとして子どもたちからも、食事バランスガイドを見て自分が栄養が取れていないということが目で見えてわかったので、これからも実践していきたい、野菜を食べなきゃいけないと子供たちが捉えていました。保護者からもできるだけ工夫して品数を増やしていきたいとか、子供本人の意識が変わりました、子供本人が今まで食べなかったものに振り向いてくれるようになりましたと前向きな意見をいただきましたので、やってよかったと感じています。次年度も続けていきたいと思えます。

**学校教育課** 学校教育課では、各校の栽培活動状況をまとめております。栄養指導も各校で行っています。

**JA** JAですが、地元食材の提供等を行ってきましたが、今年度は天候不良でこ

の時期の野菜が不作である状況です。プチベールの出荷状況は予定以下しかなく、病気の蔓延もあり、これが農業というものであり、それに繋がるのが食育であると痛感しております。親子農業塾を毎月1回開催し、子供が自分で作った野菜を食べられるようになったと聞いております。プランターでも野菜が作れることがわかり、子供と一緒に楽しんで栽培することができたと意見をいただきました。飲む酢でプチベール酢がありますが、5倍くらいに薄めて飲むもの、プチベールの粉を使ったお菓子などプチベールを使った商品があります。他にもプチベールの粉を使った商品としてプチベールうどんなどがあります。現在ふりかけは開発中であります。プチベール酢はプチベールを原料とした表示がありませんが、加工していますと表記ができないとのことではありますが、間違いなくプチベールを使用したものです。

商工会 商工会では、飲食業の商工会会員さんが国や県の助成金を使用して日進産の農作物を使った特産品、新商品開発を行っている状況であります。

委員 委員としてですが、家庭教育推進委員会の委員もやっておりますが、香久山小の畑で作った作物を家推の行事で使用し振舞いました。その際にあまってしまった大根を何か利用できないかと考えましたが、結果として破棄してしまったことを、来年度は改善していきたいと思いました。自分の子供が小5ですが、家庭の朝食の献立を提出するなどの取組みを各学年でできたらいいと感じました。それをすることで本人も朝早く起きて考えていたのでよい活動だと思えました。

委員 赤池小は、農地が周辺にないのですが、わずかな畑で落花生を植えました。生徒にそれを配布しましたが、加工の仕方がわからなかった。また、校長が果実を栽培したいとっており、来年度は取組むそうです。また、よもぎ団子を作って配ることをしていますが、よもぎはその辺で取っているのがどうなのかと。

委員 委員として、個人的にボランティアで食品添加物の勉強会を行ったり、味噌作り講座を20数名の方に体験していただきました。来年度は田でお米を作ってみようと計画しています。

委員長 今回の報告の中で、ご質問等があるようでしたら、ここでお願いします。

委員 大学と協働で調査をしたとことですが。その結果を知ることはできるのですか。

児童課 まとめてはいませんが、お伝えすることはできます。

委員 HPなどで見れるようになったらよいと思います。

委員長 つづきまして、次第の3 今後の取組みについて事務局より説明をお願いします。

事務局 11月のエコフェスタで名古屋学芸大学の協力を得て、食育コーナーを設けました。次年度も各イベントで場所を確保できれば、食育コーナーを設けたい

と考えております。

エコフェスタでアンケートをとった結果を簡単に説明します。アンケートは、概要版のチェック項目をアンケートとし、どういう状況かを確認しました。調査対象は80名とわずかでしたが、分析してみました。

まとめとして、地産地消について全体を通して関心が薄いことと、食育イベントへの参加率が低いことが見て取れます。よって、今後の取組みとして、第2次食育推進計画をどのように活用し、食育の周知啓発を進めていくかを考えていく必要があります。

委員長 実践に繋がるようなこととして、市と大学との連携で「食でつながる日進市」という冊子を作成し100部配布しました。せっかくなので学校でも配れないかということで、4年生から6年生の各クラスに1冊ずつ配布し、担任の先生にどのように使用していただいたかをアンケートしましたが、概ね7割くらいの先生が子どもたちは興味をもって見ていたということでしたが、第2次食育推進計画を知っていますがという問いには、2割弱しか知らないという結果でした。クラスで食育の取組みはしているかの問いには5割以上がしているという結果でした。学校側は普段から栄養啓発に力を入れているようですので、委員会でも進めていけるといいと思っています。

事務局 計画もしらないという話もありましたので、啓発できる方法として、ランチョンマットの案を作ってみました。できるだけ使ってもらえるようなデザインを考えてみましたが、ご意見をいただきたい。

委員 (絵やレイアウトの意見多数。)

委員 ワンプレートのようなものはどうか。

委員長 便利だが、日本の食文化としては、食器をもって食べるのが基本である。

事務局 日進では、米を食べるということを基本に考えていくこととしたい。

委員 これをもらった時には、こういうのが日本の食生活なんだなということを知ってもらおうこととしてはいいと思います。

委員 小学校とかに配布したりするのですか。小学校に配布してもらいたいと思う。

委員 親としては、啓発用としてレシピを作ってもらえたりすると嬉しい。

委員 数はどれくらい作れるのか。

事務局 予算の範囲内ですが、数百枚はできると思います。意見をふまえて、調整します。

委員長 本日の意見を元に次年度の計画をつめていただくとともに、啓発用品を完成させ、食育事業に使用していただきたいと思います。

委員長 その他ですが、事務局から何かありますか。

事務局 次回の開催予定は、夏頃を予定したいと考えております。

委員 冊子を読んで感じたのは、親は学校やこどもから知るという現状からも、親

の方が学ばなければならないことが多々あると思うので、親に向けた啓発も必要と思いました。

委員長 次回開催については、前もって通知をさせていただきますので、皆様にお集まりいただけますようお願い申し上げます。

これで第2回食育推進委員会を終了させていただきます。長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。